東日本旅客鉄道労働組合 東京地方本部　East Japan Railway Workers Union・TOKYO Regional headquarters　東京地本ＨＰ

JREU TOKYO
業務部速報

2026.10.10 No.013

発行：ＪＲ東労組東京地本 業務部

「新宿事業本部の運営体制の見直しについて」（９月17日に）提案を受ける！その②

提案時の主なやり取り（続き）

組合	会社
（代々木） 代々木駅北口は2020年1月（提案時）に、「業務委託改札コーナーの契約を見直す」として直轄戻し（本体運営に戻す）した背景は？	駅総体で運用できると判断したためである。
今回一部時間から終日にできると判断した理由は？	サポートコールシステムの浸透や対応件数が減ったことが主な理由である。過去２年分のデータを検証した。
北口の窓口はどうするのか？（ふさぐのか？）	異常時対応できるようにする。
朝通対（第二ホーム）はどうする？	前超勤なくす方向で検討している
（中野駅） 新しい改札（西改札）について	新規の作業ダイヤ２本は西改札専属 改札は8通路 券売機はMV1台・EM2台・メトロ2台を検討している。
駅総体で変わることはなにか	他の現行ダイヤも変わる 西口ができることで終電の追い出しルートが一つできるため

代々木駅北口はこの間、「本体運営」→「コーナー委託」

→「委託解消し無人化」と変化してきています。

施策によって振り回されているのはお客さまであり、働く私たちです。

サービス面、異常時対応などきちんと議論していきます。

また、中野駅に新しい改札ができます。職場環境やバックヤードの整備

を求めていくと同時に現状の職場環境改善も一緒に求めていきます！

JR東労組は「組織再編後も労使議論の質は落とさない」ことを会社と確認しています。

働く者の利益や「安全・健康・ゆとり」を守るために会社と議論をしていきます。